

平成28年9月2日
総合政策局海外プロジェクト推進課
交通プロジェクト室

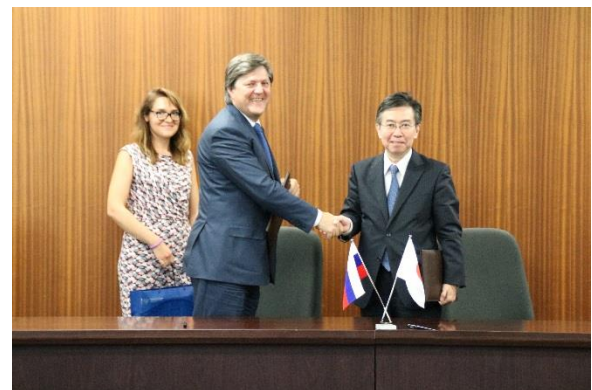
第3回日露運輸作業部会（次官級会合）の結果について

先般の日露首脳会談を踏まえ、国土交通省及びロシア運輸省の次官級による会合を開催し、両国の交通分野での協力について意見交換を行ったところ、結果について以下のとおりお知らせ致します。

1. 日時： 平成28年8月31日(水)14:00～16:00
2. 場所： 国土交通省国際会議室
3. 出席者
【日本側】 田端 浩 国土交通審議官(共同議長)ほか
【ロシア側】 オレルスキー ロシア連邦運輸省次官(共同議長)ほか
4. 結果概要：別紙のとおり



<会議写真>



<共同議長写真>

【問い合わせ先】

総合政策局海外プロジェクト推進課

交通プロジェクト室 増田、長津

電話：03-5253-8111(内線：25912、25915)

夜間直通：03-5253-8818 FAX：03-5253-1562

1. 8項目の協力プラン関係

①極東港湾の高度化

ロシア極東港湾の高度化について、日本とロシアの間で協力体制を構築するとともに、ワニノ港等のプロジェクトの具体化に向けて引き続き協議を進めていくことを確認しました。

②ハバロフスク空港

日本とロシアの企業間で協議が進められているハバロフスク空港の近代化プロジェクトについて、双方が、投資条件が整うことへの期待を表明しました。

③ロシア地方中核都市における都市交通計画支援

都市交通整備の案件具体化について、日本側は支援を表明し、ロシア側からこれを歓迎する旨発言がありました。

2. その他

①貨物輸送の発展

ロシア側から、シベリア鉄道及びロシア極東港湾を利用した貨物輸送の改善について紹介しました。日本側から、ヴォストチヌイ港における放射線検査費用を日本側荷主が負担させられている問題を指摘し、ロシア側からは、放射能検査による費用徴収は認められておらず、関係機関と協議し、改善に向けて適切に対処する旨の表明がありました。また、日本のコンテナ物流情報サービス(Colins)及び日中韓の港湾物流情報サービスネットワーク(NEAL-NET)とロシアの港湾、ロシア鉄道の物流システムとの接続に向けた検討を専門家間で進めることを確認しました。

あわせて、8月30日に開催された国土交通省鉄道局及びロシア鉄道による鉄道専門家会合の結果が報告されました。

②北極海航路を利用した貨物輸送

北極海航路を利用した貨物輸送について、日本側はサベッタ港の入域手続の迅速化、砕氷船のサービス料金の情報開示等を求めました。ロシア側から、入域手続の迅速化について関係機関と協議するため、具体的な情報を提供して欲しい旨発言がありました。

③大陸棚からの資源輸送に際するロシア籍船の使用の義務化

ロシアにおける資源を輸出する船籍を制限する法案について、日本側は懸念を伝えるとともに、ロシア外務省への問合せに対する回答の督促及び最新情報の提供を求めました。ロシア側から、ロシア外務省に回答を働きかける旨発言がありました。

④海技資格の相互承認

航海士又は機関士の資格である海技資格について、ロシア側より相互承認に向けて、手続きを進めるよう要請があり、日本側は関係機関と協議して適切に進める旨発言しました。

⑤運輸分野における両国の協力案件の形成

ロシア側から、港湾、道路、鉄道等のインフラ投資プロジェクト等に関する情報提供がありました。日本側は(株)海外交通・都市開発事業支援機構(JOIN)について紹介しました。